



謝罪する時の「ごめんね」、
感謝する時の「ありがとう」。

とても身近なこの言葉は、生きていく上でも大切な、
気持ちを伝える言葉です。



歴史をふり返ってみると、たくさんの、いろいろな形の、
「ごめんね」「ありがとう」がありました。



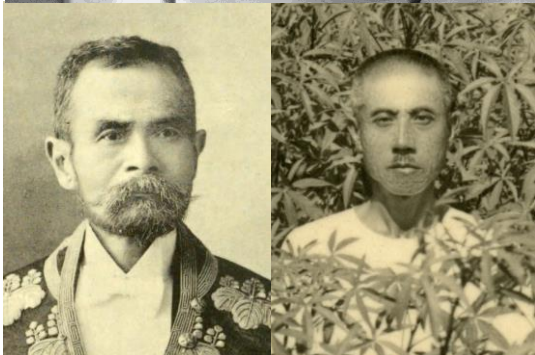
展示では、おとなも子どもも、むかしもいまも変わらない、
「ごめんね」「ありがとう」の気持ちが伝わる、
ふくいの資料を紹介します。

2017年(平成29)

9月30日|土|→11月5日|日|
若狭図書学習センター エントランスホール

(写真) 右上から時計回りに

- 1 佐久間象山、2 新島襄、3 藤野巖九郎、4 加藤竹雄、5 杉田定一、6 矢尾鼎三、7 岡田啓介
- 1・2・5・7は国立国会図書館ウェブサイト電子展示会「近代日本人の肖像」より、
- 3は「仙台医学専門学校在学記念帖」藤野巖九郎家文書(福井県文書館寄託) C0125-00241より、
- 4は「(加藤竹雄校長、福井農林学校関係写真)」加藤竹雄家文書(福井県文書館蔵) A0052-01407より、
- 6は「(矢尾鼎三写真、きもの、福井市東下町吾妻館和田 A.Wada)」矢尾真雄家文書(福井県文書館倉) A0065-00519より



ごめんね。
ありがとう。展